

学校教育目標

1 本校の教育目標

人と自然を愛し、心身ともにたくましく、主体的に学び、考え、行動できる子の育成

校訓	目指す児童像	
明るく	明るいあいさつと返事のできる子	自然を愛し、思いやりの心をもった子
強く	深く考え、粘り強く実行する子	生命を大切にし、たくましく生きる子
進んで	仲よく助け合い、進んで働く子	自ら学び、考えを進んで発表できる子

2 経営方針

全教職員が教育者としての使命を自覚し、日々研鑽に努めるとともに、協力して、児童の人間として調和のとれた育成を目指す。

ア 児童が安心して通える学校づくりの推進

- 生徒指導の3機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場）を生かした教育
- 自己有用感の高揚（居場所づくり・絆づくり・相互信頼）

イ 確かな学力の育成

- ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業改善と、基礎基本の確実な定着
- 未知の社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成
- 教育環境の充実（児童の活動に即した環境・児童の活動が見える環境）
- 自己教育力を高めさせるための、振り返りの充実と家庭学習の習慣づくり

ウ 豊かな心と健康でたくましい体の育成

- 人を思いやる力と、あいさつ・返事・整理整頓
- 読書活動の充実
- 運動の楽しさの実感と外遊びの奨励、食育の充実

エ 信頼される頼もしい教職員集団の確立

- 現職教育、研修会の充実による、実践的で具体的な指導力の向上
- 少経験者研修等を通しての学級経営力、授業力の向上

オ 開かれた学校づくりの推進

- 家庭・地域への適切な情報発信
- 家庭・地域の教育力の活用

カ 社会の変化に対応する教育の推進

- 情報モラル教育・キャリア教育・プログラミング教育・SDGsに関連する教育の推進

3 重点努力目標

一人一人を大切にし、資質・能力の向上を目指す教育の実現

- 一人一人の特性（得意・不得意、個人差）や興味・関心を大切にし、個に応じた指導・支援をすること等による、個の資質・能力の向上と、主体的な学びに向かおうとする姿の実現
- 確かな教材理解に基づく学習展開・指導の工夫による、深い学びの実現
- ユニバーサルデザインの視点を意識した授業展開の工夫や、タブレット端末の効果的な活用等による、「わかる、できる」授業の実現

働き方改革にかかる業務改善の推進

- 校務分掌の最適な配置、学校行事や教育活動全般の効率化・活性化の更なる推進
- 必要な情報共有による職員の共通理解と、連携して適切に対応する体制の強化